

海外の一般体操情報

Report: Overseas Gymnastics for All



Hong Kong

香港体操祭+中国返還20周年記念イベント

Hong Kong Gymnastics Festival

クイーンエリザベスホールに老若男女2,500名が参集!

香港体操協会は、香港における一般体操の普及発展を目的として毎年体操祭を開催している。今回の体操祭では、香港がイギリスから中国に返還されて20周年を祝うイベントも併せて行われた。午前の部では小学生27チームが出場し、午後の部では主に幼稚園児や親子、高齢者など、21チームによって演技発表がなされた。

[参加チーム]
● 町田市リズム運動サークル ● お〜るど・ボーイズ



日程	● 2017年5月28日(日)
場所	● 中国 / 香港
参加者数	● 2,500名
派遣委員	● 長谷川 聖修、小柳 将吾、鈴木 裕太



Iran

一般体操講習会 / イラン

Gymnastics for All Workshop in Iran

イラン、一般体操の開拓をはじめ

現在、イランでは男子体操競技は盛んであるが、一般体操においては未開拓である。今回はAGU一般体操委員会委員である、イラン体操協会のVader Tavana氏の要請で、イラン第2の都市であるシラズで講習会が開催された。男女80名の体操指導者が本講習会を受講した。これを機会としてイランに一般体操の波が訪れることを希望する。



日程	● 2017年9月1日(金) ~ 9月4日(月)
場所	● イラン・イスラム共和国 / シラズ
参加者数	● 80名
講師	● 荒木 達雄



Korea

第8回 ハッピー・ジムナスティックス・フェスティバル

8th Happy Gymnastics Festival

広がるアジアの輪、日本やモンゴルからも参加!

今季、韓国では韓国体操協会主催の体操祭は開催されず、Han Yoron Soo氏が運営する体操祭がスーウォン体育館にて盛大に開催された。韓国で唯一の、一般体操祭である「Happy Gymnastics Festival」には今年も多くチームが集い、今年



日本より神崎ジュニア新体操クラブ(男子)がゲストチームとして素晴らしい演技発表を行った。また、モンゴルからも高齢者チームも参加して大会を盛り上げた。



日程	● 2017年12月16日(土)
場所	● 韓国 / スーウォン
参加者数	● 650名
視察	● 荒木 達雄



Germany

ドイツ国際体操祭

Turnfest

150年以上の歴史と伝統を誇る、ドイツ国際体操祭

ドイツ国際体操祭は、ドイツ体操連盟(DTB: Deutscher Turner Bund)が4年に一度開催するイベントである。このイベントの歴史は古く、1860年にコーブルクで開催されたのが始まりである。2005年には国外からの参加者が加わったことで国際大会へと発展し、参加者数は毎回80,000名を超え、体操・スポーツの祭典としては世界最大級の規模を誇る。

今回の舞台はベルリン! 初日は参加者によるパレードの後、ブランデンブルグ門前に設営されたステージでオープニング・セレモニーが開かれた。翌日より、メッセ会場では各種競技会が始まり、なかでも体操競技会場では、世界最高齢の体操選手として知られている、ヨハンナ・クアーズ氏(91歳女性)が平行棒で華麗な演技を披露した。同施設内では他にも演技発表やワークショップ、器具の展示・体験コーナーなどが設けられており、参加者は思いの時間を過ごしたことであろう。大会中盤のプログラムには「スタジアム・ガラ」があり、80,000名を収容するオリンピック・スタジアムにて、多種多彩な演技が繰り広げられた。スタジアム・ガラではドイツ国内の団体による演技の他、フィンランドやデンマーク、日本チーム(日本体育大学体操部、日本体育大学ダンス部)による演技も行われた。

次回は、2021年ライブツィヒで開催される予定である。



日程	● 2017年6月3日(土) ~ 6月9日(金)
場所	● ドイツ / ベルリン
参加者数	● 80,000名
派遣委員	● 伊藤 由美子

[参加チーム] ● ハローフレンズイノア

● 日本体育大学体操部 ● 日本体育大学ダンス部



国際体操連盟 第3回 ワールド・ジム・フォー・ライフ・チャレンジ
FIG 3rd World Gym for Life Challenge

筑波大学体操部、シルバーメダルを受賞!

右記期間、ノルウェー／ベストフォールにて、国際体操連盟 (FIG) が主催する「World Gym for Life Challenge」が開催された。世界体操祭と同様に、4年に一度の大イベントであり、「エンターテイメント・革新性・技術・全体の印象」の4観点から、世界で最も優れたチームを選ぶコンテスト大会である。

事前にエントリーしたカテゴリーで最大5分間の演技が行なわれ、その演技をFIGによって選抜された4名の評価者 (Evaluator) が採点することによって、すべての参加チームにゴールド／シルバー／ブロンズメダルのいずれかが授与された。最終日の晩に開催されたGALAには、各カテゴリーでゴールドメダルを受賞した15グループと、FIG評価チームが推薦した2グループ (スイスと日本から初出場した筑波大学体操部) が選出された。その結果、体操・ダンスのLarge groupから選出されたギリシャのOlympiada Thrakomakedononが最高得点を得て、グラントロフィーを獲得して優勝した。

運営には、FIG一般体操委員会の荒木達雄氏が尽力し、一般体操の発展と可能性を探る新たな試みとして、大変有意義なイベントであった。また、渡辺守成FIG会長が出席されて、本大会を大いに盛り上げて頂いた。



日程	●2017年7月26日 (水) ~ 30日 (日)
場所	●ノルウェー／ベストフォール
参加国数	●23カ国
参加者数	●2,200名
派遣委員	●長谷川 聖修



University of Tsukuba
Gymnastics Club



国際体操連盟 一般体操委員会 障害者プロジェクト
FIG Gymnastics for All Committee Disability Project

障害者プロジェクトを本格的に始動!!

国際体操連盟 (FIG) 一般体操委員会が主催する事業は多岐にわたり、そのひとつとして障害者プロジェクトがあげられる。今回はイギリス／ロンドンにて、委員会メンバーと参加各国の有識者・指導者によって情報・意見交換会が行われた。期間中は、プロジェクトの目的や将来の方向性などについて議論が進められ、加えてワークショップも行われた。

イギリスでは1990年以降、障害者のスポーツ参加を促す様々な施策が導入されてきており、今後も期待を寄せたいところである。



日程	●2018年1月25日 (木) ~ 28日 (日)
場所	●イギリス／ロンドン
参加国数	●7カ国
参加者数	●15名



国際体操連盟 一般体操講習会
FIG Join the gymnastics for All Activities Course

アジア地区における一般体操の普及を目指す

スリランカ／ネゴンボにて、国際体操連盟 (FIG) 一般体操委員会による「Join the gymnastics for All Activities Course」が開催された。講習会には7カ国 (アフガニスタンやイラン、ヨルダン、マレーシア、ネパール、スリランカ、タイ)、49名の指導者が参加した。講師は、同委員会のマーガレット委員長と荒木達雄委員が務めた。本講習会では一般体操の歴史の他、FIGが主催している各種体操祭やコロキウムなどについても説明が行われた。理論と実技の両面を通して一般体操の領域について理解を深める時間になったことと思う。

期間中は、世界体操祭 現地組織委員会のメンバーによるプレゼンテーションも行われた。本講習会に参加したメンバーが世界体操祭に興味を持ち、実際にエントリーしてくれることを願う。

日程	●2017年11月23日 (木) ~ 25日 (土)
場所	●スリランカ／ネゴンボ
参加国数	●7カ国
参加者数	●49名
講師	●Margaret Sikkens、荒木 達雄



アジア体操連盟 一般体操講習会
AGU Common Training Camp Gymnastics for All Coaches

アジアにおける指導者養成の普及を図る

右記期間、ネパール／カトマンズにて、アジア体操連盟 (AGU) が主催する一般体操講習会が開催された。主な講義内容は体操の目的や体操の分類・特性などの基礎理論、また、指導者としての在り方、世界における体操イベントの実施状況や情報などについても公開された。一方、実技では、基本的な運動を中心に授業が展開された。一連の体操を繰り返し実施しながら動きを習得した後、指導法についても説明がなされた。



日程	●2017年8月23日 (水) ~ 8月25日 (金)
場所	●ネパール／カトマンズ
参加国数	●6カ国
参加者数	●25名
講師	●荒木 達雄
派遣委員	●伊藤 由美子